



# まきび 進路だより

令和6年11月21日発行  
岡山県立倉敷まきび支援学校  
進路指導係

## ◎高等部 2 学期の現場実習

高等部 2 学期は、1、2 年生は 9 月 24 日～10 月 4 日の 2 週間、3 年生は 10 月 11 日までの 3 週間の現場実習を行いました。

職業コース 1 年生は初めての「校外集団実習」、生活コース 1 年生は 1 学期とは別の作業を行う「校内実習」、2 年生は 1 学期とは別の場所での「校外実習」、3 年生は進路先を決めていくための最後の「校外実習」でした。それぞれの生徒が、1 学期の実習で得た経験や実習で分かった課題の解決に取り組んできたことを生かした 2 学期の実習だったと思います。

1、2 年生は 3 学期にも実習があります。2 学期の実習の成果と課題もしっかり振り返って次に生かせるように取り組んでいきたいです。

### 【実習の様子】

#### 高等部 1 年生 校内実習、集団実習



生活コースは、封入作業、配線リサイクル、ゴム製品のバリ取り等の作業を校内で行いました。指示通りに取り組む、時間いっぱい取り組む等、生徒ごとに目標を意識していました。

職業コースは、高齢者デイサービスの事業所や大学で集団実習を行いました。デイサービスで高齢者の方と触れ合ったり、大学でのグラウンドの草抜きをしたりと、様々な経験をさせていただきました。

B 部門はカタログはがしや生活介護の活動体験等、将来の事業所利用に向けた取り組みを行いました。



#### 高等部 2 年生 校外現場実習 (体験実習)



高等部 2 年生は 2 回目の個別での校外現場実習でした。1 学期の実習を経て、自分が次はどんな職種、どんな場所で実習したいかを考え、保護者の方や先生と相談して決めた実習先です。

1 学期は、仕事をするこのイメージがもちにくかった生徒も、2 学期は「ここで実習する」「この作業をする」等を意識して実習に取り組む姿が見え始めています。1～3 年生の積み重ねでだんだんと自分の進路について考えていくことができるようになっていきます。

## 高等部3年生 校外現場実習(進路を決めるための実習)



高等部3年生は卒業後の進路先を決めるための最後の現場実習でした。

「ここで卒業後、働きたい」と思っている生徒は、実習に取り組む姿勢も変わってきます。自分から目標を意識して作業する、職場の方の指摘を真摯に受け止める、自分から報・連・相をすることを心掛けたり自分から次の作業がないか尋ねたりするといった姿が見られます。

「できること、できないこと」は、一人一人違いますが、「したい、行きたい!」と生徒自身が思っていると自分のもてる力をしっかり発揮できるようになります。

## ◎ジョブマッチング～特別支援学校生徒のためのジョブフェア～を行いました

高等部職業コース、生活コース1年生のうち、卒業後一般企業・A型事業所希望の生徒を対象に、企業の方から仕事内容を教えていただいたり、生徒から働くことについて質問をしたりする会を行いました。どの企業も映像やパワーポイント資料を用意してくださり、仕事内容や働く上で求められること等について、分かりやすくお話ししてくださいました。生徒たちは、事前に考えた質問をしたり、その場で聞いた内容について確認したりしていました。

### 【ジョブマッチングの様子】



この行事をきっかけに、見聞きしたことのある企業でも想像していたよりもいろいろな仕事があることを知ったり、やってみたい仕事に気付いたりして、2年生からの現場実習や卒業後の進路について考える良いきっかけになったと思います。

### 【今回来てくださった企業】

株式会社ダブルツリー、株式会社仁科百貨店、株式会社レイ、ヤマト運輸株式会社（五十音順）



※上記のQRコードは、今回来て下さった企業のホームページへのリンクとなっています。会社概要等、今後の進路先を考える上での参考にしてください。